

LEGENDARY

- レジェンダリーシリーズ -

LEDヘッドライト/フォグランプ

取扱説明書

はじめに

この度は、弊社の商品をご購入いただきありがとうございます。
正しく安全にご使用いただくため、この取扱説明書をよくお読み
になり、内容をご理解いただいた上でご使用ください。
誤ったご使用による事故、破損、損害、ケガ、火事などの責任は
一切負いかねますことをご了承ください。

<<必ずお読みください>>

- 取り付けの際は必ず専門業者様にて取り付けの可否をご確認
の上、取り付け作業を行ってください。車種によってはバル
ブ形状が合致していても、スペースの不足、レンズ内の距離
等により設置不可となる場合があります。
- 本製品を取り付けた場合、車両によっては、球切れ警告機能
が作動する恐れがあります。
その場合、車両側コンピューターの書き換え等が必要になる
場合があります。
- 不点灯やちらつきなどの症状が発生した場合は、ただちに
使用を停止し、純正状態に復帰してください。
- 純正バルブに比べ発熱量が少ないため、ランプに付着した
雪や氷が解けにくい場合があります
- 取り付け作業完了後、必ず光軸調整を行ってください。

免責事項

- カメラ/ミリ波/紫外線/超音波などを使用した、アダプティブクルーズコントロールなどの自動運転機能、可変配光システムなどの先進安全機能やドライバー運転支援技術(オートハイビーム・自動ブレーキ・前方衝突警告・衝突軽減システム・誤発進抑制制御システム・車線逸脱防止システム・駐車支援システム・クリアランスソナーなど)は、純正バルブの使用を前提に、設定や調整がなされているため、本製品を装着することにより、正常に作動しない恐れがあります。当該機能の誤作動や不作動及び、それにより生じた事故や、損害破損、ケガ、火事などについては、直接的、間接的を問わず一切責任を負いかねますので予めご了承ください。
- 本製品の取り付けや点灯チェックなどの最中に発生した、直接的、間接的に生じた事故、損害、破損、ケガ、火事などについては責任は弊社では負いかねますので予めご了承ください。
- 本製品を使用したことによる直接的、間接的に生じた事故、損害、破損、ケガ、火事などについての責任は弊社では、負いかねますので予めご了承ください。
- 本製品の不具合により発生した、事故や、損害、破損、ケガ、火事などについては、直接的、間接的を問わず一切責任を負いかねますので予めご了承ください。
- 本製品は電動ファンを使用しておりますので、ファンの作動音が聞こえる場合があります。予めご了承ください。
- LEDは同じ色温度(K数)でも、異なった色に見える場合があります。そのため、ヘッドランプとフォグランプで同じ色温度(K数)のバルブを装着しても、異なった色に見える場合がありますが、製品不良ではありませんので、予めご了承ください。
- お車によって球切れ警告灯を回避できない場合があります。その場合はディーラーなどでコーディング(球切れ警告機能をOFFにする)作業を行ってください。
- 車によってエンジン始動時など球切れ警告機能作動時の電流に反応し、一時点滅する場合があります。車側の仕様によるもので商品不具合ではございません



車検について

- 本製品は保安基準である『発光色』『視認性』の性能評価を条件で満たしておりますが、下記の場合は保安基準不適合として判断され、車検に通らない場合があります。また、純正バルブとは異なった光に見えることや車種、電圧などが要因で、必ずしも車検に通るとは限りません。

その際は元のバルブに交換するか、レンズの点検を行ってください。

- ・競技用として販売している商品
- ・競技用として販売しているレンズ
- ・測定器の備えが無く、検査官の目視による判断をされる場合
- ・経年劣化による灯具の損傷や、レンズの汚損がある場合
- ・新光源対応テスター※を使用していない場合

※従来型テスターでは、LEDの発する光を正しく感知できずに、光度不足と計測される場合があります。

新光源対応テスターではない場合、目視検査モードでの測定を行うことをおすすめします。

- 装着箇所及び使用用途により、車検に適合しない場合があります。保安基準などの自動車関連法規を遵守してご使用ください。

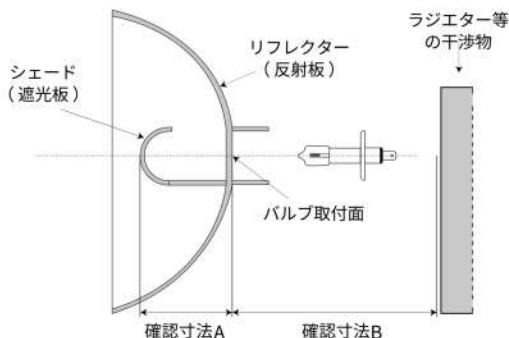
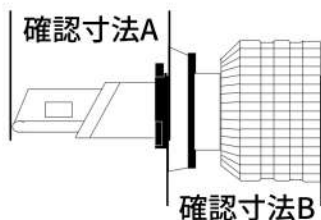


取り付け上のご注意

作業を行う前に取り付けスペースとバルブ寸法をご確認ください

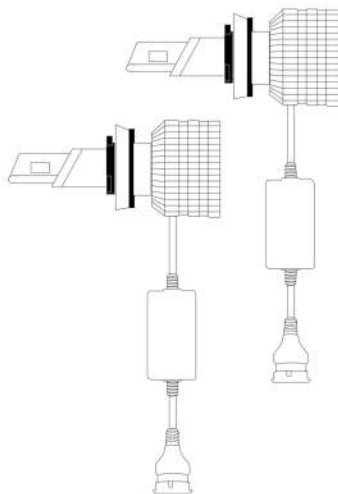


バルブ寸法より確認寸法Aが少ない場合は取り付け不可となります。
防水カバーなどにより、バルブ寸法が確認寸法Bより少ない場合は、
穴あけ加工等が必要となります。



商品内容

バルブ×2



結束バンド×6



簡易説明書

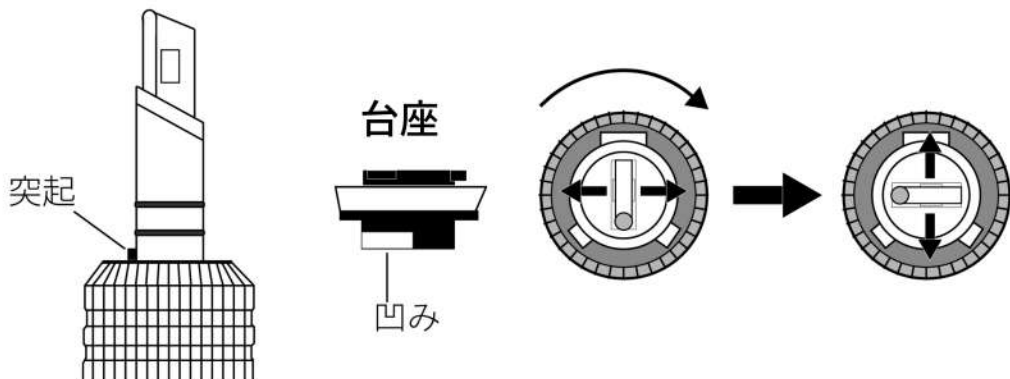


角度調整について ※HB3/HB4/H8/H9/H11/H16の場合

■台座の仕様について

LEDバルブ本体側に突起、台座側に凹みがあり、凹みの範囲内、 $0^{\circ}\sim 90^{\circ}$ (HB3のみ 135°) までの範囲で無段階の角度調整が可能です。

LEDバルブ本体



■角度調整方法について

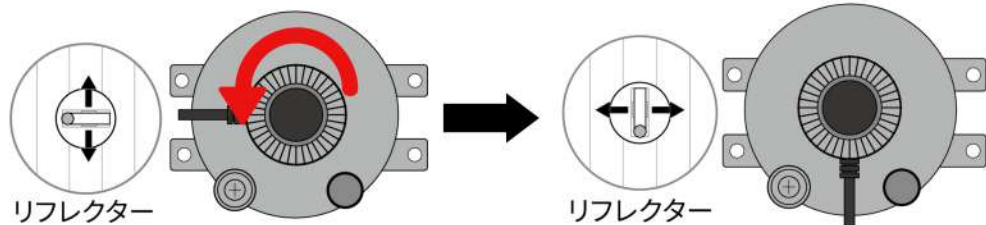
LEDバルブは、届いたときの状態でそのまま取り付ければ、基本LEDチップの角度調整は必要ありません。配光が乱れる場合は、角度調整のできる範囲内で最適の位置を決めてください。リフレクターのカットラインに対して平行、または近い角度でお試してください。

※車によっては、平行にならない場合もあります。

※ヘッドライトユニットの仕様によっては、左右で角度が異なる場合もございます。角度に左右差があっても、配光には問題ない設計となります。角度調整を行う場合は、LEDバルブをレンズユニットに取り付け、その後、反時計回りにLEDバルブ本体を回し角度調整を行ってください。その際、LEDバルブ本体が台座から脱落しないよう、LEDバルブ本体を押し込みながら角度調整を行ってください。

調整前

調整後

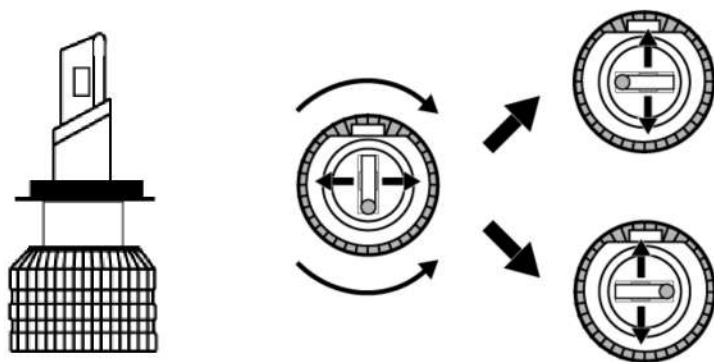


角度調整について ※H1/H3/H3C/H7の場合

■台座の仕様について

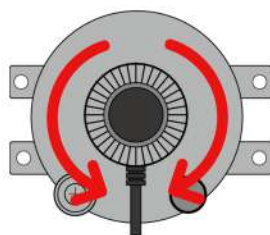
LEDバルブの角度調整は360°無段階で調整が可能です。

LEDバルブ本体



■角度調整方法について

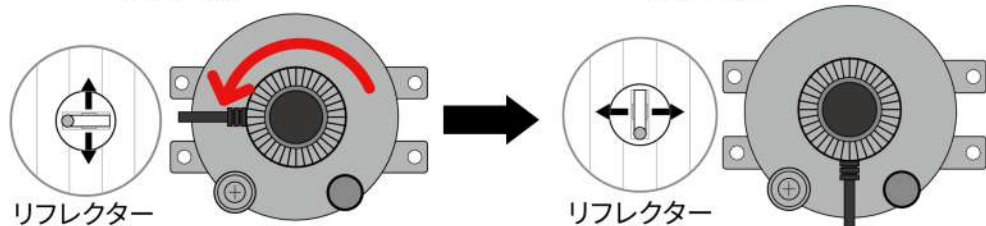
台座を車両に固定したのちに、LEDバルブ本体を台座に挿入し固定します。そのまま左右に回して角度調整が可能です。



リフレクターのカットに合わせて調整を行ってください。

調整前

調整後



リフレクター

リフレクター

①電源の遮断

安全の為、バッテリーのマイナス端子を外して作業を行ってください。バッテリーのマイナス端子を外すと、ラジオ・サンルーフ・パワーウィンドウなどのメモリーが消える場合があります。端子を外す前に記録を残してください。また作業終了後に元の状態に戻してください。

②ハロゲンバルブへのアクセス

取り付けの工程上、車両によってはバンパーの取り外しや、ライトユニットの取り外しが必要な場合がございます。

※取り外し方法は車両により異なります。各車両の整備解説書などをご確認いただき取り外してください。

③ハロゲンバルブの取り外し

ハロゲンバルブに接続されている電源カプラーを取り外し、ハロゲンバルブを反時計回りに回し、取り外します。

※ハロゲンバルブ後方に防水カバーがある場合は奥行寸法を確認してください。

寸法が足りずLEDバルブ本体に干渉する場合は取り付けができません。

※取り外したハロゲンバルブは何かあった際に戻せるよう必ず保管してください。

④LEDバルブの取り付け

ハロゲンバルブを取り外した手順とは逆の手順でLEDバルブを挿入し、時計回りに回し固定します。

固定したのち、車両側カプラーとLEDバルブのカプラーを接続します。

⑤角度調整

LEDバルブは、届いたときの状態でそのまま取り付ければ、基本LEDチップの角度調整は必要ありません。配光が乱れる場合はP4を参考に角度調整を行ってください。

⑥光軸調整

車両を復元し光軸調整を行ってください。



取り付け手順と要領 ※H1/H3/H3C/H7の場合

①電源の遮断

安全の為、バッテリーのマイナス端子を外して作業を行ってください。バッテリーのマイナス端子を外すと、ラジオ・サンルーフ・パワーウィンドウなどのメモリーが消える場合があります。端子を外す前に記録を残してください。また作業終了後に元の状態に戻してください。

②ハロゲンバルブへのアクセス

取り付けの工程上、車両によってはバンパーの取り外しや、ライトユニットの取り外しが必要な場合がございます。

※取り外し方法は車両により異なります。各車両の整備解説書などをご確認いただき取り外してください。

③ハロゲンバルブの取り外し

ハロゲンバルブに接続されている電源カプラーを取り外し、ハロゲンバルブを押えているピンを外し、取り外します。

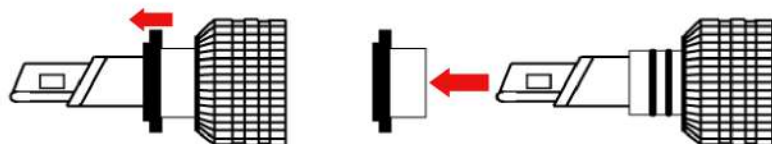
※ハロゲンバルブ後方に防水カバーがある場合は奥行寸法を確認してください。寸法が足りない場合は穴あけなど加工を行ってください。

※取り外したハロゲンバルブは何かあった際に戻せるよう必ず保管してください。

④LEDバルブの取り付け

LEDバルブから台座を取り外しハロゲンバルブを取り外した手順とは逆の手順で台座を固定します。固定した台座にLEDバルブを挿入し固定します。固定したのち、車両側配線と接続します。

※台座部分をまっすぐ引き抜くことで、台座を取り外せます。



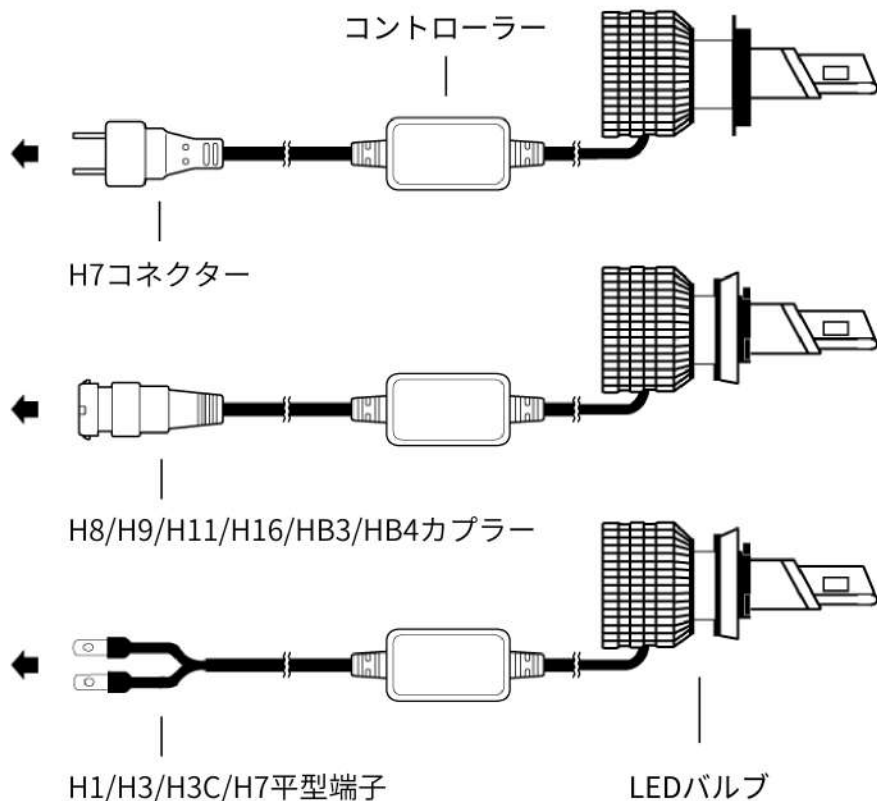
⑤角度調整

無段階に角度調整が可能です。レンズのカットラインに合わせて任意に角度調整を行ってください。

⑥光軸調整

車両を復元し光軸調整を行ってください。

接続配線図



- ※各カプラー/コネクタ/端子は脱落防止の為しっかりと奥まで接続してください。
- ※水がかかりやすい場所に取り付ける場合は、各接続部に防水グリスやコーキング剤を塗布するなど防水処理を行ってください。
- ※本製品には極性があります。点灯しない場合は電源カプラー/コネクタ/端子の向きを180°変えて接続してください。

★全く点灯しない

電源カプラー接続の極性が間違っていないか、ヒューズが切れていないか、ライトのスイッチがONになっているかを確認してください。

★片側点灯しない

バルブを左右入れ替えて、点灯確認を行ってください。
症状が移動した場合は、不具合の恐れがあります。取り付け店または販売店までご連絡ください。

★LEDチップの向きはどちらに向ければいいですか？※H8/H9/H11/H16/HB3/HB4の場合

LEDバルブは、届いたときの状態でそのまま取り付ければ、基本LEDチップの角度調整は必要ありません。配光が乱れる場合はP4を参考に角度調整を行ってください。

★LEDチップの向きはどちらに向ければいいですか？※H1/H3/H3C/H7の場合

無段階に角度調整が可能です。レンズのカットラインに合わせて任意に角度調整を行ってください。

★防水加工は必要ですか？

車両の灯具との相性により、水分の混入などが発生する恐れがあります。必ず防水加工を行ってください。

★車検対応ですか？

車検対応です。光軸調整や検査中のトラブルにより、車検に合格しない場合もあります。

★輸入車に取り付けできますか？

キャンセラーを内蔵しておりますが、一部車両では球切れ警告機能を回避できない場合があります。その場合はディーラーでコーディング作業(球切れ警告機能をOFF)を行ってください。

★キャンセラーと組み合わせて使用してもいいですか？

キャンセラーと組み合わせて使用した場合、消費電力が高くなりすぎる恐れがあります。キャンセラーと組み合わせての使用はしないでください。

★輸入車ですが、エンジン始動時に点滅します。

車によっては、ACC ON時やエンジン始動時のタイミングで、球切れ警告機能作動時の電流に反応し、LED が一時点滅する場合があります。こちらは、車側の仕様によるもので商品不具合ではございません。お車側の仕様に関しましては、ご購入された業者様にご確認ください。

★ヒューズが切れてしまう

純正ヒューズのA(アンペア)数によってはヒューズが切れる恐れがあります。15A未満が採用されている場合15Aのヒューズに交換をお願いします。
